



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年11月14日

東

上場会社名 株式会社インターネットインフィニティー 上場取引所
 コード番号 6545 URL https://iif.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 別宮圭一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 星野健治 (TEL) 03-6779-4777
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,783	8.8	127	—	129	—	83	—
2019年3月期第2四半期	1,639	0.8	△25	—	△25	—	△23	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期第2四半期	15.72		15.16					
2019年3月期第2四半期	△4.47		—					

(注) 2019年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,930	807	41.8
2019年3月期	1,906	816	42.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 807百万円 2019年3月期 816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,502	4.2	170	84.4	186	79.4	120	87.2	22.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当第2四半期累計期間における自己株式の取得及び自己株式の処分による影響を考慮して算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期2Q	5,413,371株	2019年3月期	5,413,371株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年3月期2Q	107,203株	2019年3月期	20株
------------	----------	----------	-----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期2Q	5,339,598株	2019年3月期2Q	5,240,050株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や所得水準の改善などを背景に、設備投資の増加や個人消費に持ち直しの動きが見られるなど緩やかな景気回復が続いた一方で、世界経済においては、米中貿易摩擦の激化や中国経済の減速、英国のEU離脱問題などによる下振れリスクが懸念され、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社の事業に関わる高齢社会に関連する市場は、高齢者の増加と共に年々拡大する傾向にあり、ヘルスケアサービスの需要はますます高まりつつあります。また、健康寿命の延伸や、社会保障費の増大に歯止めをかけることなどが喫緊の課題として認識されており、高齢者の健康維持・向上に重点をおいた短時間リハビリ型通所介護サービス(デイサービス)の需要は今後も高まることが予想されます。その一方、3年毎に介護報酬の改定が行われており、介護保険制度を安定的に持続させていくための取り組みが進められております。

このような状況の中、当社は「健康な未来」というコーポレートスローガンのもと、「創意革新と挑戦による、超高齢社会における課題解決」をミッションと位置づけ、短時間リハビリ型通所介護サービス(デイサービス)「レコードブック」店舗ネットワークの拡大及びケアマネジャー会員ネットワーク「ケアマネジメント・オンライン」を活用したサービスの拡大に注力いたしました。レコードブック事業の全国展開及び将来の事業拡大等を着実に加速させていくため、フランチャイズ本部機能を継続的に強化しているほか、社員の「働き方改革」等を推進することによって優秀な人材を確保するための取り組みを積極的に行っております。また、政府の介護離職ゼロに向けた取り組みを受けて、Webソリューション事業における仕事と介護の両立支援事業を引き続き積極展開するとともに、シルバーマーケティング支援については、メディカルソリューションの分野での本格展開を目指し、新サービスの開発、強化を進めております。

以上の結果、売上高は1,783,505千円(前年同四半期比8.8%増)、営業利益は127,269千円(前年同四半期は25,343千円の損失)、経常利益は129,149千円(前年同四半期は25,354千円の損失)、四半期純利益は83,922千円(前年同四半期は23,443千円の損失)となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりです。

(ヘルスケアソリューション事業)

レコードブック事業におきましては、当第2四半期累計期間において短時間リハビリ型通所介護サービス(デイサービス)「レコードブック」のフランチャイズが15カ所増加しております。その結果、直営店が27カ所、フランチャイズが132カ所となりました。

そのほか、名古屋鉄道株式会社との合弁会社である株式会社名鉄ライフサポートが愛知県を中心に展開する「名鉄レコードブック」は、当第2四半期会計期間末において17カ所となっております。

これにより、「レコードブック・ブランド」の店舗が合計で176店舗(前年同四半期末は126店舗)となりました。

これらの店舗増加や既存店舗の稼働率向上等に伴う収入の増加に加え、2018年4月からの介護報酬改定の影響を受けて減少していた顧客単価につきましても、前期下期より進めている新たな加算の取得により増加に転じるなど、売上高、営業利益ともにレコードブック事業全体として増加いたしました。

また、Webソリューション事業におきましても、本格展開に向け新サービスの開発を進めているメディカルソリューション分野での案件獲得が始まり、売上高は増加しております。

この結果、売上高は1,163,972千円(前年同四半期比17.1%増)、営業利益は198,924千円(前年同四半期比174.5%増)となりました。

(在宅サービス事業)

介護業界では人材不足により採用難が進んでおります。当社においても有資格者の減員などによるサービス提供量減少により売上高は減少いたしました。既存の人員で効率的な運営を行ったことにより、前年同四半期と比べ営業利益は若干増加いたしました。

この結果、売上高は619,533千円(前年同四半期比4.0%減)、営業利益は188,232千円(前年同四半期比2.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は1,084,136千円となり、前事業年度末に比べ28,176千円減少いたしました。その主な要因は、売掛金が29,209千円、貯蔵品が7,744千円増加した一方、現金及び預金が69,659千円減少したことによるものです。

固定資産は846,690千円となり、前事業年度末に比べ52,376千円増加いたしました。その主な要因は、「レコードブック」の店舗増加等に伴い建物(純額)が49,067千円増加したことによるものです。

この結果、当第2四半期会計期間末における資産合計は1,930,827千円となり、前事業年度末に比べ24,199千円増加しました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は976,026千円となり、前事業年度末に比べ122,668千円増加いたしました。その主な要因は、短期借入金が80,000千円、預り金が65,506千円、未払法人税等が44,438千円増加した一方、賞与引当金が41,803千円、その他に含まれる未払費用が23,758千円減少したことによるものです。

固定負債は147,557千円となり、前事業年度末に比べ89,432千円減少いたしました。その主な要因は、長期借入金83,152千円減少したことによるものです。

この結果、当第2四半期会計期間末における負債合計は1,123,584千円となり、前事業年度末に比べ33,236千円増加しました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は807,243千円となり、前事業年度末に比べ9,037千円減少いたしました。その主な要因は、四半期純利益の計上による増加83,922千円及び、譲渡制限付株式報酬としての自己株式処分による増加7,521千円、自己株式の取得による減少99,960千円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末に比べ69,659千円減少し、360,285千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は140,980千円(前年同四半期は7,956千円の使用)となりました。これは主に、税引前四半期純利益126,493千円、預り金の増加額65,506千円、減価償却費52,089千円などによる資金の増加が、賞与引当金の減少額41,803千円、未払費用の減少額23,758千円などによる資金の減少を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は96,193千円(前年同四半期は127,673千円の使用)となりました。これは主に、事業譲渡による収入3,814千円などによる資金の増加が、有形固定資産の取得による支出87,572千円、差入保証金の差入による支出10,706千円などによる資金の減少を下回ったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は114,446千円(前年同四半期は80,859千円の獲得)となりました。これは主に、短期借入金純増額80,000千円による資金の増加が、自己株式の取得による支出99,960千円、長期借入金の返済による支出89,101千円などによる資金の減少を下回ったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、当第2四半期累計期間の業績及び今後の動向等を勘案して検討した結果、2019年5月15日の「2019年3月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、業績予想値は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	429,944	360,285
売掛金	581,804	611,013
貯蔵品	15,575	23,319
その他	86,243	91,589
貸倒引当金	△1,254	△2,070
流動資産合計	1,112,313	1,084,136
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	440,225	489,292
その他(純額)	64,720	55,012
有形固定資産合計	504,945	544,305
無形固定資産	23,651	23,552
投資その他の資産	265,716	278,833
固定資産合計	794,314	846,690
資産合計	1,906,628	1,930,827
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,916	9,410
短期借入金	130,000	210,000
1年内返済予定の長期借入金	172,625	166,676
未払法人税等	3,987	48,425
預り金	237,624	303,130
賞与引当金	72,754	30,951
その他	226,449	207,432
流動負債合計	853,357	976,026
固定負債		
長期借入金	141,111	57,959
資産除去債務	39,372	40,490
その他	56,506	49,108
固定負債合計	236,989	147,557
負債合計	1,090,347	1,123,584
純資産の部		
株主資本		
資本金	250,992	250,992
資本剰余金	235,992	235,992
利益剰余金	329,360	412,761
自己株式	△63	△92,502
株主資本合計	816,281	807,243
純資産合計	816,281	807,243
負債純資産合計	1,906,628	1,930,827

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	1,639,029	1,783,505
売上原価	1,134,266	1,160,915
売上総利益	504,762	622,590
販売費及び一般管理費	530,106	495,320
営業利益又は営業損失(△)	△25,343	127,269
営業外収益		
事業譲渡益	2,829	2,829
助成金収入	427	1,777
その他	1,391	2,772
営業外収益合計	4,649	7,379
営業外費用		
支払利息	4,596	5,198
その他	63	300
営業外費用合計	4,660	5,499
経常利益又は経常損失(△)	△25,354	129,149
特別損失		
減損損失	—	2,655
特別損失合計	—	2,655
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△25,354	126,493
法人税、住民税及び事業税	2,839	37,115
法人税等調整額	△4,750	5,455
法人税等合計	△1,910	42,570
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23,443	83,922

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△25,354	126,493
減価償却費	35,697	52,089
減損損失	—	2,655
のれん償却額	302	233
事業譲渡損益(△は益)	△2,829	△2,829
貸倒引当金の増減額(△は減少)	859	816
賞与引当金の増減額(△は減少)	△18,250	△41,803
支払利息及び社債利息	4,596	5,198
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△1,404
売上債権の増減額(△は増加)	△1,771	△29,209
たな卸資産の増減額(△は増加)	165	△7,744
仕入債務の増減額(△は減少)	△953	△505
預り金の増減額(△は減少)	79,668	65,506
未払金の増減額(△は減少)	1,005	6,598
未払費用の増減額(△は減少)	10,132	△23,758
前受金の増減額(△は減少)	△1,270	△817
前受収益の増減額(△は減少)	4,943	△3,629
未払消費税等の増減額(△は減少)	△523	△3,623
その他	△12,041	△5,981
小計	74,377	138,284
利息の支払額	△4,629	△5,244
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△77,705	7,940
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,956	140,980
投資活動によるキャッシュ・フロー		
事業譲渡による収入	4,408	3,814
有形固定資産の取得による支出	△110,280	△87,572
有形固定資産の売却による収入	—	1,116
無形固定資産の取得による支出	△4,968	△3,522
差入保証金の差入による支出	△16,833	△10,706
差入保証金の回収による収入	—	1,045
資産除去債務の履行による支出	—	△369
投資活動によるキャッシュ・フロー	△127,673	△96,193
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	110,000	80,000
長期借入金の返済による支出	△84,694	△89,101
社債の償還による支出	△5,000	—
割賦債務の返済による支出	△8,189	△2,234
リース債務の返済による支出	△2,600	△3,150
新株予約権の行使による株式の発行による収入	71,344	—
自己株式の取得による支出	—	△99,960
財務活動によるキャッシュ・フロー	80,859	△114,446
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△54,770	△69,659
現金及び現金同等物の期首残高	405,257	429,944
現金及び現金同等物の四半期末残高	350,487	360,285

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式115,900株の取得を行いました。また、2019年6月27日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行いました。この処分により自己株式は6,999千円(8,717株)減少しました。この結果、当第2四半期会計期間末において自己株式は92,502千円(107,203株)となりました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益計算書 計上額 (注)2
	ヘルスケアソリューション事業	在宅サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	993,798	645,230	1,639,029	—	1,639,029
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	993,798	645,230	1,639,029	—	1,639,029
セグメント利益	72,459	184,151	256,610	△281,954	△25,343

(注) 1. セグメント利益の「調整額」△281,954千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益計算書 計上額 (注)2
	ヘルスケアソリューション事業	在宅サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,163,972	619,533	1,783,505	—	1,783,505
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,163,972	619,533	1,783,505	—	1,783,505
セグメント利益	198,924	188,232	387,156	△259,887	127,269

(注) 1. セグメント利益の「調整額」△259,887千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。